2025年6月22日 NO.2282

碧南市笹山町 3-13-10

山□はるみ 磯貝 明彦 電話 42-8940 電話 • FAX FAX 41-9904 48-2718

までした。

市民にも議会にも、説明責任を果たさないま

9400万円から4000万円に減らし、

小学生のみ、3学期2・5ヶ月のみ、予算

させた弱腰が浮き彫りになりました。

食費無償化」を議会で反対され、大幅に後退

小池市長就任2年目は

6月議会の日本共産党市議団の

一般質問と

あるの

説明責 任果たして

明彦議 •

解消していくのか。 を誘致して、そこへ移行していくことにな るが、保護者の方たちの多くの不安をどう 教育・保育が円滑に移行できるように新 公立2園を廃止し、 新たに民間こども園

組み方や考え方や地域特性を知ってもらう。 行事に参加してもらい、それぞれの園の取 引き継ぎ保育をしてもらう。年間を通じて 教諭等には令和9年度中にそれぞれの園で 人の子どもたちを水平避難させていけるの しく決まった園の主幹保育教諭 ・ 一般保育 い地域である。自力で避難できない190 新たに誘致する伊勢町は災害リスクが高

園では鷲塚小学校への避難訓練を2分程度 で実施している。 4時間前とされている。同規模の鷲塚保育 か。津波到達時間はどのくらいか。 津波発災後2時間から

問 国保加入者全員に資格確認書を送付する 資格確認書の発行について 考えは。

償化を予算化。

交付する考えはない。

市民や議会への説明責任を果たしていない。

ポン」補助を提案した小池市長。300円×

給食費無償化を後退させ

デジタル・クー

小学生、3学期のみに大後退。 議会が反対し白紙撤回となっ

学期給食費無

夕

間り所 のいない猫 **の**

アルは作成

して

ら小学生無償化となるので。

地産地消やオーガニック給食を。

大府市

が

広が

は学校などで行なわてない。

国が来年度か 撤回の通知

ラインの市民だけが対照です。

差別を行政がしてもいいのか」

と怒りの声 不公平」 スマホや

8回=2,400円の補助ですが、

4月からの給食費無償化や、

考えはあるか。 キツネ対策として生態調査をしていくお 県のマニュアルを活用

調査する考えはない。

機打開、

進捗状況は 替えに ついての 焼却場の建

方法、規模ーー 業廃棄物混合処 理の可否、 公設民設、 処理

る2号地多 海に隣接す 目的グラン

問

0 +/日は 一つ 検討する。決定 後検討委員会で していることは の基準として今

|問気候危機打開には再エネ、省エネを徹底す 省エネ補助の応募状況は。 ることが最大の対策。 ある。見積もり会社3社により7月24 入札する。今年度中を目標に進める。 新設」 2号地多目的グランド」 用地で 新規事業 の既設住宅

間が治市長は、小中幼保の一恒常的に給食費無 込みあり。 17件の見込みに、 6件360万円の申 化を

日日に 碧南市営住宅応募状況

空家募集 応募件数 倍率 29戸 212件 7.3倍 2024年度 2025年度 19件 3.2倍



答 小中合わせて過去最高利条約の徹底や 子ども計 答 問 とりのない状況の解決が必要。 努力はしたい。 安倍政権の一年前から3倍 郷町など3自治体が加入する 全国 心に傷を負った状況は、 の建設を 競争激化、

促進を。民間家賃補助の実現を。 ガニック給食協議会」に参加し学び実施を。 民間家賃補助は考えていない。 小中合わせて過去最高の約300人が不 計画の今後5年間には明確にする。 住宅計画に掲げた吹上町側の4戸の建 子ども計画」は策定に向けていく。 画」の策定を。 の不登校が増 子どもの権

碧南民報サンデー版 2025. 6. 22 NO. 2282

市

· の 平

和行政の姿勢が浮き彫りです。

まりにお粗末な使

いまわしの看板掲示に碧



和宣言」 枚掲示 コーナー この6 万一千円は、 の看板を張るとのことで のトイレ脇に 振替納税宣言 のまち」 市役所東 交通安全都市」 の看板 + など3

シ

平

平和宣言」

)核兵器廃絶を明記した文章を掲げていただき

役所玄関の正面に威風堂々の

安城市 平和行政 202 _{平和都市宣言と啓発活動を行います。} 2025年度

り核兵器廃絶の意思と行動を表明することなど

兵器廃絶を政府に求めること、

自らもかのな限

を認識できるように。

平和教育、

平和行政、

市内に看板を掲げ

市民が日常的

「員賛成で可決しました。

日本共産党は

表題に

核

を に

6 **碧** 月 **南**

市平和宣

碧南市平

·和宣言」

や

を求めました。

と少額に。

しかし

非核兵器」

抜き。

予算も 6万ー千

1. 平和に対する市民の意識を醸成するため、

2. 平和都市宣言を行い、平和都市宣言を行った旨 の看板の設置、被爆樹木の植樹等、平和に関す る啓発活動を行います。

広島・長崎に原爆が投下されてから70年以上が経ち ました。戦争を知らない世代の増加とともに、悲惨 な戦争の記憶が風化しつつあります。本市では戦争 の悲惨さ、原爆の恐ろしさと平和の尊さ、大切さを 再認識していただくため、原爆パネル等の貸出しを 実施しております。

平和で安心して暮らせる社会か どは、人類共 通の願いです。

この願いに反し、今なお世界各地で武力紛争が続き、人類 の生存に脅威と不安をもたら

す多くの核兵器が存在しています。

私たちは、戦争の悲惨さと核兵器の恐ろしさを決して忘れ てはなりません。

そして、先人たちから受け継いだ私たちの郷土「へきなん」 を次の世代へつなぎ、安心・

安全で豊かな生活をより確かなものにしていくため、碧南 市は、戦後80年の節目に、平

和への誓いを新たにし、ここに「平和都市」を宣言します。

http://hekinan.jcpweb.net/ 日本共産党碧南市会議員団のホー ・ジをご覧ください。

日本共産党碧南市議団



市議会議員

山口はるみ **2**42-8940



市議会議員

磯貝明彦 **23**48-2718

三度山町 2-70-4 若松町 3-253

碧南市東浦町6ーアゴ碧南東店 (土曜日) 12 時 南

大企業優遇正し消費税減税を





のゆがみを正す

はたやま和也(元衆院議員) (参院議員) 小池晃(書記局長) 山下よしき(副委員長)白川よう子(元香川県議)